



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東  
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年6月期第1四半期の業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,600	△6.8	△97	—	△105	—	△76	—
2019年6月期第1四半期	1,718	△28.3	△112	—	△121	—	△87	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	△28.17	—
2019年6月期第1四半期	△31.89	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	7,276	2,673	36.7
2019年6月期	7,733	2,855	36.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 2,673百万円 2019年6月期 2,855百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年6月期	—				
2020年6月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	6.1	400	47.0	360	47.2	248	80.3	91.16

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期1Q	2,755,500株	2019年6月期	2,751,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	47,793株	2019年6月期	30,593株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年6月期1Q	2,713,790株	2019年6月期1Q	2,738,853株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しているものの、米国・中国間の貿易摩擦や英国のEU離脱問題に対する先行き懸念が長引くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property : キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力してまいりました。

卸売販売につきましては、国内市場では自社IP製品の「フレームアームズ・ガール」シリーズより「スティレット XF-3」を発売、2019年6月に劇場公開された「フレームアームズ・ガール～きゃっきやうふふなワンダーランド」に合わせて、その関連製品である「フレームアームズ」、「モデリング・サポート・グッズ」等の販売にも注力しました。また、自社IP製品の「ヘキサギア」シリーズは、「ウインドフォール」、「バルクアーム・グランツ」を発売し、着実に実績を積み上げてきております。他社IP製品については、スタイリッシュアクションゲーム「デビル メイ クライ」シリーズより「ARTFX J ダンテ」、「ARTFX J ネロ」を発売。あわせて並べる事でより一層、シリーズの世界観を楽しんでいただける製品になっており、好評を得ました。

海外市場では、2019年7月に中国政府文化部と上海市政府が共同で開催する、中国発の国際的アニメ・ゲーム博覧会である「CCG EXPO 2019 上海」に出展。また世界最大のコミック、アニメ、映画等のポップカルチャーに関するコンベンションとして開催される「Comic-Con International」の中で最も多い動員を誇り、歴史と格式の高い祭典の一つである「サンディエゴ・コミックコンベンション」に出展し、会場限定品をはじめとした物販コーナー、最新フィギュア・キャラクターグッズの展示、撮影スポットなどを用意し、盛況な結果となり、今後の海外展開に期待を抱かせました。自社IP製品についても「メガミデバイス」シリーズをはじめアジアを中心に好評を得ており、地域ごとのローカライズ活動に注力してまいりました。

直営店舗、ECサイトによる小売販売につきましては、「鬼滅の刃」シリーズの商品が好調に推移、また、直営店舗では2019年7月にイベント「テイルズ オブ フェスティバル 2019 後夜祭」を開催、「テイルズ オブ」シリーズにちなんだオリジナルカフェのオープンやミニゲームを行い、盛況な結果となり、関連商品が好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、自社IP製品の上記取組みを積極的に行い、フィギュアの売上高は順調に推移しましたが、プラモデルの売上高は伸び悩み、売上高は1,600,860千円(前年同期比6.8%減)、営業損失は97,793千円(前年同期は112,075千円の営業損失)、経常損失は105,517千円(前年同期は121,303千円の経常損失)、四半期純損失は76,450千円(前年同期は87,346千円の四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は7,276,620千円となり、前事業年度末に比べ456,466千円(5.9%)の減少となりました。

### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は3,467,851千円で、前事業年度末に比べ481,399千円(12.2%)減少しております。現金及び預金の増加202,197千円があった一方で、売掛金の減少693,601千円があったことが主な要因であります。

### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は3,808,769千円で、前事業年度末に比べ24,933千円(0.7%)増加しております。その他に含まれる金型の増加23,899千円が主な要因であります。

### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,448,461千円で、前事業年度末に比べ202,772千円(12.3%)減少しております。買掛金の減少138,574千円が主な要因であります。

### (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は3,154,750千円で、前事業年度末に比べ71,989千円(2.2%)減少しております。長期借入金の減少79,953千円が主な要因であります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は2,673,408千円で、前事業年度末に比べ181,703千円(6.4%)減少しております。配当金の支払い81,612千円、四半期純損失76,450千円を計上したことにより利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更ありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,406,713	1,608,911
売掛金	1,298,289	604,688
商品及び製品	532,222	522,049
未着品	71,472	24,472
仕掛品	298,828	335,196
貯蔵品	4,027	5,448
その他	430,525	459,915
貸倒引当金	△92,830	△92,830
流動資産合計	3,949,250	3,467,851
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,071,076	2,041,693
土地	708,408	708,408
その他(純額)	435,572	449,226
有形固定資産合計	3,215,057	3,199,328
無形固定資産	83,670	83,023
投資その他の資産	485,108	526,417
固定資産合計	3,783,836	3,808,769
資産合計	7,733,086	7,276,620
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	361,797	223,222
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	371,870	351,027
賞与引当金	37,338	73,843
ポイント引当金	50,641	48,389
その他	429,587	351,978
流動負債合計	1,651,234	1,448,461
固定負債		
長期借入金	2,859,452	2,779,499
退職給付引当金	101,607	106,953
役員退職慰労引当金	205,600	208,175
資産除去債務	20,260	20,302
その他	39,819	39,819
固定負債合計	3,226,739	3,154,750
負債合計	4,877,974	4,603,211
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	441,309	442,584
資本剰余金	403,809	405,084
利益剰余金	2,055,352	1,897,289
自己株式	△45,357	△71,550
株主資本合計	2,855,112	2,673,408
純資産合計	2,855,112	2,673,408
負債純資産合計	7,733,086	7,276,620

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,718,167	1,600,860
売上原価	1,190,990	1,035,085
売上総利益	527,176	565,774
販売費及び一般管理費	639,251	663,568
営業損失(△)	△112,075	△97,793
営業外収益		
受取利息	210	440
受取手数料	353	379
為替差益	114	677
その他	1,053	1,312
営業外収益合計	1,731	2,810
営業外費用		
支払利息	10,786	10,226
その他	173	307
営業外費用合計	10,959	10,534
経常損失(△)	△121,303	△105,517
特別損失		
固定資産売却損	—	128
特別損失合計	—	128
税引前四半期純損失(△)	△121,303	△105,645
法人税、住民税及び事業税	289	277
法人税等調整額	△34,245	△29,472
法人税等合計	△33,956	△29,195
四半期純損失(△)	△87,346	△76,450

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。